

1 日 時 令和7年2月28日（金） 9：20～12：30

2 場 所 校長室

3 あいさつ（学校長、委員長）

委員長：6年生を送る会が感動的であった。

学校長：ボランティアの方々に支えてもらった。おかげで健やかに前向きなこどもになっている。地域を題材とした探求学習がスタートした年である。田村視学官がこども主体、カリキュラムマネジメントが現行学習指導要領の柱だと言っている。本校でもその視点で進めていきたい。

4 協議内容

（1）6年生を送る会の参観

（2）令和6年度学校関係者評価について（別紙）

- ・若い職員が多い。一層、組織的に取り組んでいかなければならない。

（3）学校支援ボランティアについて（別紙）

- ・稲生の歴史について職員に周知したが、整理しきれなかった。
- ・カリキュラムマネジメントを行いながら進めていきたい。
- ・委員から資料の提供を受けた。活用できるようにしていきたい。

（4）令和7年度学校経営の構想について（別紙）

- ・こども一人ひとりの心に働きかけられるようにしていただきたい。
- ・「体制づくり」について、何に注力するか、軽重をつけていくことも大事。そのためにもカリキュラムマネジメントに取り組んでいく。

（5）令和7年度学校行事予定について（別紙）

- ・3月末に授業参観の回数・時期のお知らせを出してはどうか。
- ・学期1回でよい。1学期には家庭訪問もある。

（6）家庭教育の充実に向けた取り組みについて

- ・スマホ所有率が増えている。PTAとの連携した取り組みが必要である。
- ・こどものしかり方、価値づけについて保護者同士が共有できる場があるとよい。

（7）令和7年度学校運営協議会委員について

- ・継続をお願いしたい。→ 了承。

5 教育支援課コミュニティスークアドバイザーより

- ・地域学習をどう入れていくか。→ カリキュラムマネジメントで行う。地域と密着して行っていくことになるので、ご協力をお願いしたい。
- ・安心してどの子も生活できるように、学校・家庭・地域が今後どうしていくとよいか考えていかなければならない。